

大阪府教育委員会教育長 様

大阪府立すながわ高等支援学校
校長 土口 千恵子

学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

取り組む課題	D 生徒の自立支援
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> 授業アンケートにおける授業参加と授業理解の肯定的割合向上 ICT機器を活用した授業を実践する教員の割合向上 教員を対象にICT機器の稼働率向上 関係機関を招聘しての研究授業および実践報告会への参加団体数向上 公開授業週間の参加教員数向上
計画名	すながわ『ルックLOOK』プロジェクト ～ICTを活用した基礎的環境整備～

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	<p>2 地域の知的障がい生徒の就労支援の拠点校としての使命を果たす (1) 支援教育のセンター的機能の発揮</p> <p>3 地域に貢献できる社会人、職業人を育てる校内組織の充実 (2) 常に進化を続ける「学びと実践の人材」を育成</p>		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> 視覚・聴覚優位の生徒が多い中で、生徒が主体的に授業へ参加できるよう支援するために、ICT機器を導入し基礎的環境整備により、個々の特性に応じた自立活動の一斉指導（ビジョントレーニング）をする。 日々の自立活動によって、集中力やコミュニケーション力、プレゼンテーション力の向上をはかる。 視覚・聴覚支援によって全授業で「わかる」授業を行い、主体的でより深い学びを実践し、生徒・保護者の学校満足度を向上する。 ICT機器を活用した授業の実践例を積み重ね、授業力向上をめざす。 積み重ねられた実践例を関係各機関と共有することにより、支援教育のセンター的機能を発揮する。 		
取組みの概要	整備する 設備・物品 (概要)	インタラクティブ短焦点プロジェクター、Wi-Fiアクセスポイント、タブレット端末	
	取組内容	前年度	<ul style="list-style-type: none"> 校内アンケート、授業アンケートの実施 ICT機器活用研修の実施（生徒へのテスト授業実施） 教員向けICT機器活用実態調査の実施 ICT機器活用サポートチームの設立 将来構想会議にて、学校の課題の洗い出しから校内コンペ実施 企業を対象とした生徒のプレゼンテーション大会実施
		初年度	<ul style="list-style-type: none"> 機器活用に向けた教員研修（4月・5月） ・サポートチームによる全授業での機器活用促進（通年） 授業アンケートの実施（7月） ・生徒の理解度、学習参加度の確認とデータ分析（8月） データ分析を踏まえた実践報告会の実施（9月） ・ICT機器を活用した研究授業の実施（12月） 教員向けICT機器活用度経過調査の実施（3月） ・次年度に向けた活用方法の決定（3月） 全生徒の自立活動個別ファイルによるデータ収集（3月）
		2年目	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用した授業の実践報告を含む教員研修の実施（4月・5月） サポートチームによる全授業での機器活用促進（通年） サポートチームが中心となり、実践報告会、授業の相互観察、研究授業の実施（通年） 授業アンケートの実施（7月） ・生徒の理解度、学習参加度の確認とデータ分析（8月） 各授業でのICT活用実践事例の集約と分析（3月） 全生徒の自立活動個別ファイルによるデータ収集と2年間のデータ検証・共有（3月）
		3年目	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用した授業の実践報告を含む教員研修の実施（4月・5月） サポートチームによる全授業での機器活用促進（通年） サポートチームが中心となり、実践報告会、授業の相互観察、研究授業の実施（通年） 授業アンケートの実施（7月） ・生徒の理解度・学習参加度の確認とデータ分析（8月） 関係機関を招聘しての自立活動データ検証をふまえた研究授業および実践報告会の実施（8月・12月）
	取組みの 主担・実施者	<p>取組みの主担者：将来構想会議（首席…プロジェクト取りまとめ） ICT委員会…サポートチーム</p> <p>取組みの実施者：全教員</p>	
成果の 評価 指証 方法	初年度	<ul style="list-style-type: none"> 授業アンケートに授業参加の項目と授業理解の項目を設定し、肯定的回答の割合を60%以上にする。 ICT機器を活用した授業を実践する教員の割合を60%以上にする。 教員を対象にICT機器の利用率に対するアンケートを行い稼働率を40%以上にする。 ICT機器を活用した実践報告会と研究授業を2回以上行う。 	
	2年目	<ul style="list-style-type: none"> 授業アンケートに授業参加の項目と授業理解の項目を設定し、肯定的回答の割合を70%以上にする。 ICT機器を活用した授業を実践する教員の割合を75%以上にする。 教員を対象にICT機器の利用率に対するアンケートを行い稼働率を60%以上にする。 ICT機器を活用した実践報告会と研究授業を4回以上行う。 	
	3年目	<ul style="list-style-type: none"> 授業アンケートに授業参加の項目と授業理解の項目を設定し、肯定的割合の割合を80%以上にする。 ICT機器を活用した授業を実践する教員の割合を90%以上にする。 教員を対象にICT機器の利用率に対するアンケートを行い稼働率を80%以上にする。 関係機関を招聘しての研究授業および実践報告会への参加団体30団体以上にする。 公開授業週間の参加者数を50名以上にする。 	

3. 事業費

事業費総額	2,774,952	円
-------	-----------	---

積算内訳

* 決算科目(節)を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。		見積に基づく清算			実勢価格に基づく積算			
科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1							
	2							
	3							
							小計	
2 旅費	1							
	2							
	3							
							小計	
3 消耗需用費	1	タブレット端末				¥38,340	6	¥230,040
	2	マグネットスクリーン				¥27,432	12	¥329,184
	3	無線LANルーター				¥9,720	12	¥116,640
	4	タブレット端末				¥39,960	2	¥79,920
	5							
	6							
							小計	¥755,784
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
							小計	
5 役務費	1							
	2							
	3							
							小計	
6 委託料	1							
	2							
	3							
							小計	
7 使用料 及び賃借料	1							
	2							
	3							
							小計	
8 備品購入費	1	インタラクティブ超単焦点プロジェクター一式(設置工事費含む)				¥168,264	12	¥2,019,168
	2							
							小計	¥2,019,168
9 工事請負費	1							
	2							
							小計	
10 負担金・補助 及び交付金	1							
	2							
	3							
							小計	
							合計	¥2,774,952